

参考資料 1
第 33 回核融合科学技術委員会
令和 5 年 4 月 25 日

(令和 5 年 2 月 1 日 第 32 回核融合
科学技術委員会配付資料)

原型炉開発総合戦略タスクフォースにおけるチェック・アンド・レビュー更新の
検討に係る主な意見

- ・「④原型炉に関わる材料開発」の「第 2 回中間 C&R までの達成目標」において、核融合発電の実施時期の前倒しに対応した核融合中性子源の取扱いの記載にすべき。また、核融合発電の実施時期の前倒しにより見えなくなる定常化のための材料開発の C&R について、「原型炉段階への移行判断」の項目を見直すべき。
- ・「③ITER による統合化技術の確立」の「第 2 回中間 C&R までの達成目標」において、「ITER の運転開始」と「ITER の機器製作・据付・調整に関わる統合化技術の取得」の 2 つの記述をまとめて簡潔明瞭な表現にすべき。
- ・核融合発電の実施時期の前倒しにより「原型炉段階への移行判断」をする前に開始する必要がある、かつその後の変更が難しい項目などには、第 3 回中間 C&R を設けるべき。ただし、第 3 回中間 C&R の具体的な項目は第 2 回中間 C&R の実施を踏まえて、検討すべき。